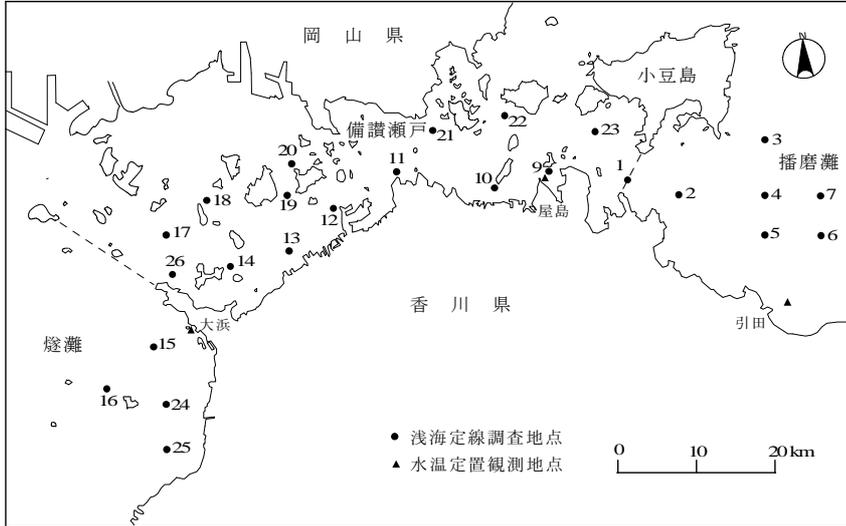


# 香川県漁海況情報 平成 25 年 11 月 (H25-8 号)

香川県水産試験場

## 1. 海況

### 1) 観測地点



### 2) 浅海定線調査

#### (1) 調査日

平成 25 年 10 月 31 日 (備讃瀬戸, 燧灘), 11 月 1 日 (播磨灘)

#### (2) 水質概況

平年と比較すると、水温と透明度は「平年並み」から「やや高め」、塩分は「著しく低め」から「やや低め」、溶存酸素は「著しく低め」から「かなり高め」であった。

11月

		水 温 (°C)			塩 分 (PSU)			透明度 (m)	溶存酸素 (ml/l)	
		表層	10m層	底層	表層	10m層	底層		表層	底層
播 磨 灘	7地点平均値	21.6	21.8	22.0	30.8	31.0	31.4	7.8	4.55	4.17
	平年値	21.4	21.4	21.5	31.9	31.9	32.1	8.3	4.89	4.77
	平年偏差	0.2	0.3	0.5	-1.1	-0.9	-0.7	-0.5	-0.34	-0.60
	標準偏差(σ)	0.8	0.8	0.8	0.8	0.7	0.6	2.8	0.32	0.31
	状 況	平年並み	平年並み	やや高め	かなり低め	やや低め	やや低め	平年並み	やや低め	かなり低め
備 讃 瀬 戸	14地点平均値	21.3	21.5	21.5	30.3	30.6	30.7	6.4	4.68	4.50
	平年値	20.6	20.6	20.6	31.8	31.8	31.8	4.9	4.85	4.82
	平年偏差	0.7	0.9	0.9	-1.4	-1.2	-1.1	1.5	-0.17	-0.32
	標準偏差(σ)	1.2	1.2	1.2	1.0	1.0	1.0	1.7	0.34	0.32
	状 況	平年並み	やや高め	やや高め	かなり低め	やや低め	やや低め	やや高め	平年並み	やや低め
燧 灘	4地点平均値	20.3	21.8	22.2	29.5	31.2	31.4	7.9	5.73	4.06
	平年値	20.5	20.5	20.5	32.0	32.1	32.2	7.1	5.15	4.93
	平年偏差	-0.2	1.3	1.7	-2.5	-0.9	-0.8	0.8	0.58	-0.87
	標準偏差(σ)	1.6	1.6	1.6	0.9	0.8	0.8	2.4	0.38	0.43
	状 況	平年並み	やや高め	やや高め	著しく低め	やや低め	やや低め	平年並み	かなり高め	著しく低め

平年偏差 = 平均値 - 平年値

平年値の算出期間

水温, 塩分及び透明度: 昭和 56 年 (1981) 1 月 ~ 平成 22 年 (2010) 12 月

溶 存 酸 素: 昭和 56 年 (1981) 2 月 ~ 平成 22 年 (2010) 12 月

水温は, 毎月 1 日の値に補正。

平年並み  $0\sigma \leq \text{平年偏差} < 0.6\sigma$  ( $\sigma$ : 標準偏差)

やや高め (やや低め)  $0.6\sigma \leq \text{平年偏差} < 1.3\sigma$

かなり高め (かなり低め)  $1.3\sigma \leq \text{平年偏差} < 2.0\sigma$

著しく高め (著しく低め)  $2.0\sigma \leq \text{平年偏差}$

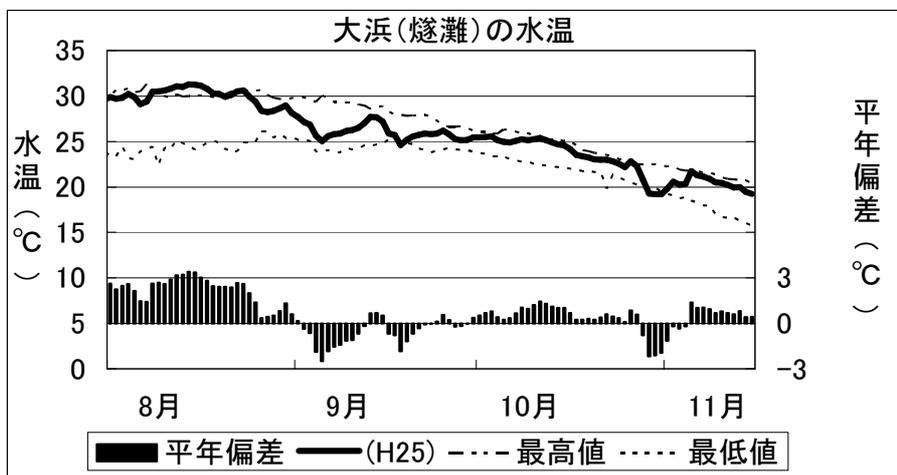
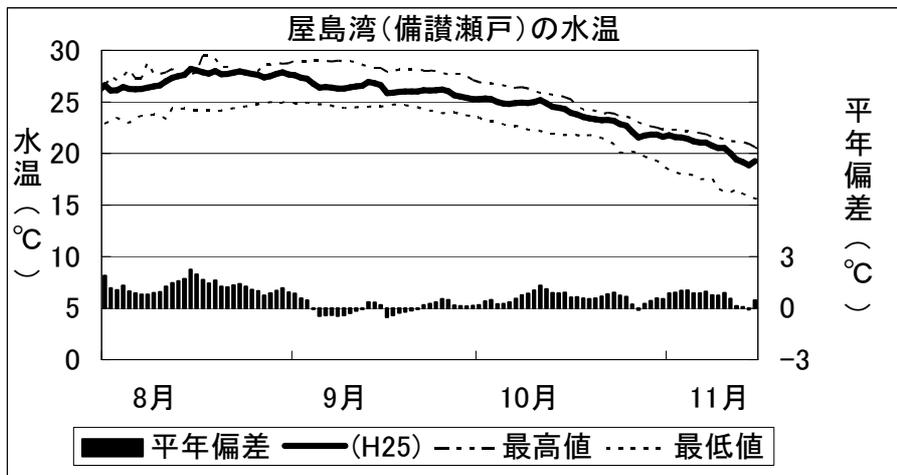
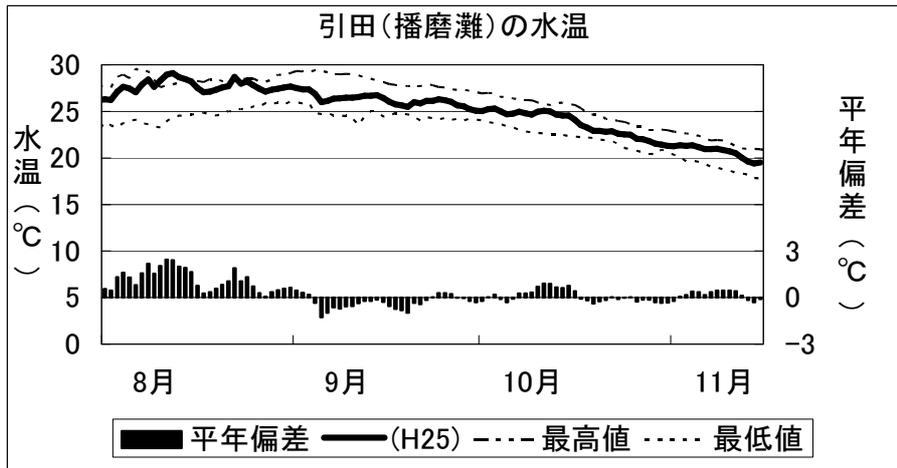
### 3) 定置観測 (水温)

播磨灘 (引田) : 8月は平年並みから著しく高め、9月はやや低めから平年並み、10、11月は平年並みで推移している。(8月中旬に5日、下旬に1日過去最高値を更新。)

備讃瀬戸 (屋島) : 8月はやや高めから著しく高め、9月は概ね平年並み、10月は平年並みからかなり高め、11月はやや高めから平年並みで推移している。(8月上旬に1日、中旬に3日過去最高値を更新。)

燧灘 (大浜) : 8月はやや高めから著しく高め、9、10月は平年並みから著しく低め、11月は平年並みからかなり高めに推移している。(9月中旬に1日、10月下旬に3日、過去最低値を更新。8月上中旬に11日、10月中旬に1日、10月下旬に1日、過去最高値を更新。)

平年値の算出期間 引田及び大浜 : 平成元 (1989) ~平成 24 (2012) 年  
屋島 : 昭和 50 (1975) ~平成 24 (2012) 年



#### 4) 赤潮 (10月20日～11月19日)

播磨灘～備讃瀬戸：10月17日～11月5日にかけて坂出港，垂水漁港，屋島湾，志度湾，内海湾，小豆島北部沿岸等で *Noctiluca scintillans* による赤潮が断続的に確認された。  
 燧灘：発生無し

#### 5) 卵稚仔

調査日：平成25年10月31日（備讃瀬戸，燧灘），11月1日（播磨灘）  
 出現量

－：平年値が0の場合を示す。（その他の魚類については平年値がない。）

平年値の算出期間

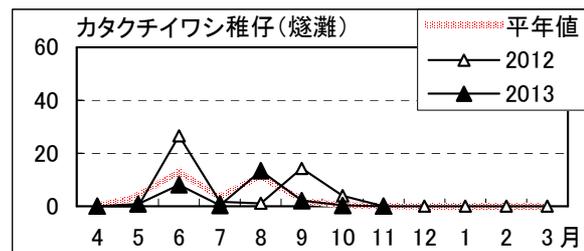
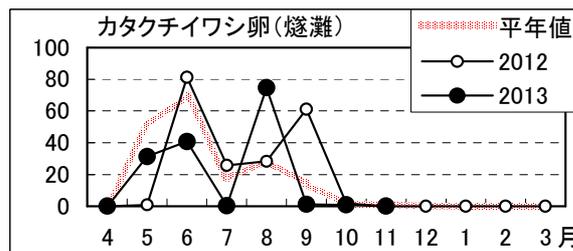
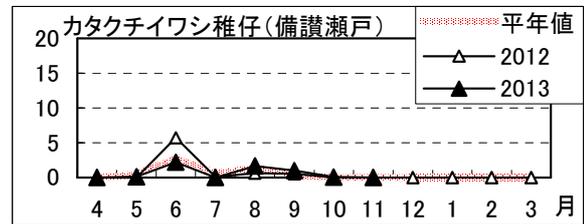
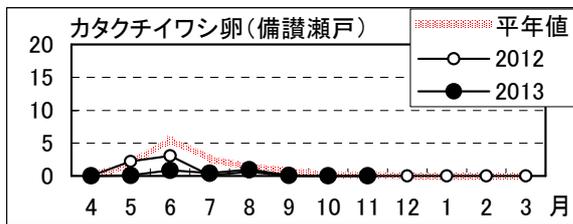
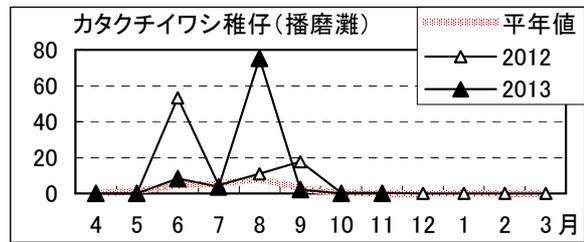
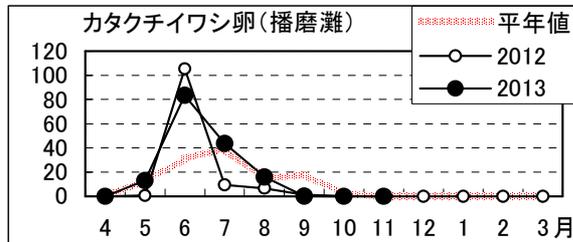
カタクチイワシ：昭和55（1980）年度～平成23（2011）年度

マイワシ：平成6（1994）年度～平成23（2011）年度

イカナゴ：昭和56（1981）年度～平成23（2011）年度

		カタクチイワシ		マイワシ		その他の魚類	
		卵	稚仔	卵	稚仔	卵	稚仔
播磨灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.9
	平年値	0.0	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.0	0.0	－	－		
備讃瀬戸	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1
	平年値	0.1	0.0	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		
燧灘	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	平年値	1.0	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.0	0.0	－	－		
総平均	平均値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.3
	平年値	0.2	0.1	0.0	0.0		
	対平年(%)	0.0	0.0	0.0	0.0		

\*マイワシの卵・稚仔は，平成14年度以降，確認されていません。



## 2. 漁況

### 1) 10月からの漁況は次のとおりである。

海 域	漁 況
播 磨 灘	<p>底びき網ではメイタガレイ、イヌノシタ、スズキ、アカカマス、ガザミ、シラサエビ（ヨシエビ）、アシアカ（クマエビ）、小エビ類、モンゴウイカ、コウイカなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではイヌノシタ、オニオコゼ、クルマエビなどが漁獲されている。</p> <p>柵網ではマアジ、マルアジ、ツバス、カワハギ、ウマヅラハギ、イヌノシタ、メイタガレイ、アイゴ、マダイ、タチウオ、コノシロ、シリヤケイカなどが漁獲されている。</p> <p>大敷網ではタチウオ、マアジ、マルアジ、シズ（イボダイ）、サワラ・サゴシ、マナガツオ、シイラ、カワハギ、ヒラ、シリヤケイカ、コウイカ、アオリイカなどが漁獲されている。</p>
備 讃 瀬 戸	<p>底びき網ではマダイ、カワハギ、メイタガレイ、ウシノシタ類、マアナゴ、マアジ、タチウオ、コイチ、スズキ、ボラ、オニオコゼ、ピングシ（セトダイ）、シロギス、ガザミ、小エビ類、マダコ、イイダコ、コウイカ、アオリイカ、アカニシなどが漁獲されている。</p> <p>建網ではカサゴ、クロダイ、アイナメ、スズキ、ボラ、アオリイカなどが漁獲されている。</p>
隧 灘	<p>底びき網ではメイタガレイ、ウシノシタ類、マゴチ、ヒラメ、マルアジ（小）、タチウオ、ハモ、マダイ、クロダイ、カワハギ、シログチ、シロギス、アカカマス、ボラ（メナダ）、アカエイ、タマガンゾウビラメ、テンジクダイ、ガザミ、小エビ類、シャコ、クルマエビ、シラサエビ、クマエビ、マダコ、イイダコ、コウイカ、ベイカ（ジンドウイカ）、アカニシなどが漁獲されている。てっかん漕ぎが始まったが、ガザミは昨年より少ない。</p> <p>柵網ではタチウオ、マダイ、カワハギ、マルアジ（小）、コイチ、スズキ、アカカマス、ツバス、シズ、シリヤケイカなどが漁獲されている。</p>

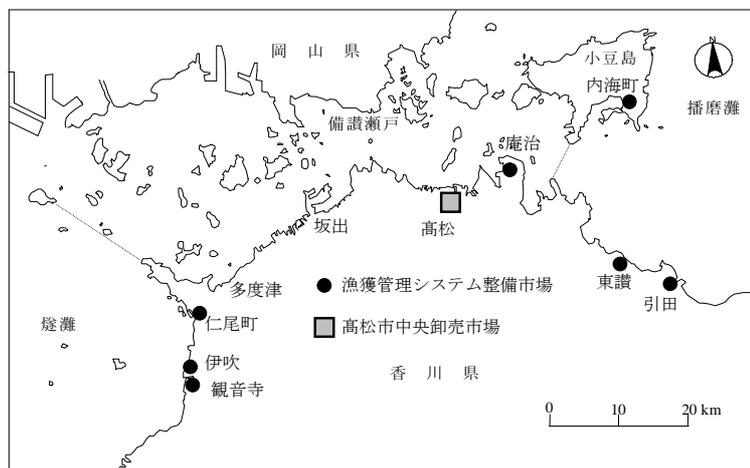
## 2) 香川県の漁獲情報

### (1) 漁獲管理（TAC）システムデータ

日本周辺の生物資源を適切に管理保存するためのTAC(漁獲可能量)を迅速に把握することを目的とした漁獲情報システムで、本県では以下の産地市場に整備している。

### (2) 高松市中央卸売市場データ

水産物のうち生鮮水産物（香川県全体からの集荷物）について、高松市中央卸売市場のホームページで公開されている情報を水産試験場で集計したもの。



播磨灘（引田、東讃、内海町）TACデータより

平均値は、2008年から2012年の5年間の平均。

